

「食べもの」「地球環境」「人」

# 5 #スクパル 時間目

宿題

「産地の取り組み」レポート

## 産地のスゴみ！

# 産地とパルシステムの 約束



授業のはじまり



「安全な食べ物を届けたい。」

「安心できる食べ物が欲しい。」

作る人と食べる人、  
ふたつの思いが**結**びついて  
「産直」というつながりが  
始まりました。



# 産直で大切にしていること

## 産直4原則

以下の4つからなる「産直協定」を結んだ産地を  
**産直産地**と呼んでいます。

1

生産者・産地が  
明らかであること

2

生産方法や出荷基準が  
明らかで  
生産の履歴がわかること

3

環境保全型・資源循環型農業  
を目指していること

4

生産者と組合員相互の  
交流ができること

# 590以上の

## 産地がパートナーです



日本での商業栽培はNG  
でも流通はOK！

遺伝子組換えでない食品でつくる

パルシステムではそんな遺伝子組換えに  
「NO！」の姿勢を貫きます。

「アニマルウェルフェア」  
を進める

## 薬剤に頼らず、 家畜を健康的に飼育する

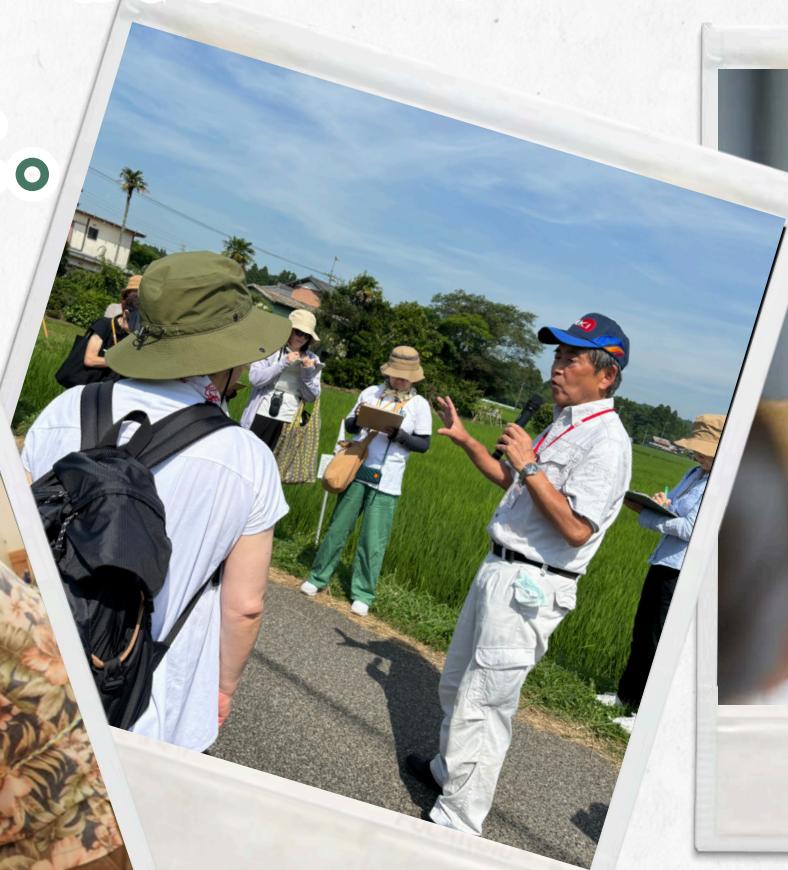
パルシステムの「コア・フード牛」や産直鶏は、  
飼育期間中、抗生素質を添加しない飼育を  
実現しています。

なるべく

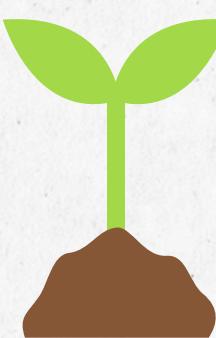
家畜にストレスがかからない  
環境を整えていきます



作る人と食べる人が交流することで  
「本当の顔のみえる関係」  
を作ること。



産地の思いを伝える



それがパルシステム東京の産地交流です。

# 公開確認会

産直産地の農畜産物の栽培・  
生産方法や安全性への  
取り組みを、組合員が**直接**確認する  
パルシステム独自の取り組みを行っています。



パルシステム東京 公式YouTubeで  
過去の公開確認会のようすを配信しています



# 産地への思いを「産地カード」で

野菜や果実に同封している「産地カード」の裏面に食べた感想を書いて、配達担当にお渡しすると生産者へメッセージが届きます。

ぜひ書いてみてね

#スクパル

今日の授業の小テスト

パルシステムの産直産地の数は？

- (A) 290以上
- (B) 490以上
- (C) 590以上

ストーリーズで小テストを回答してみてね

